
白黒学園物語

雷光

タテ書き小説ネット Byヒナプロジェクト

<http://pdfnovels.net/>

注意事項

このPDFファイルは「小説家になろう」で掲載中の小説を「タテ書き小説ネット」のシステムが自動的にPDF化させたものです。この小説の著作権は小説の作者にあります。そのため、作者または「小説家になろう」および「タテ書き小説ネット」を運営するヒナプロジェクトに無断でこのPDFファイル及び小説を、引用の範囲を超える形で転載、改変、再配布、販売することを一切禁止致します。小説の紹介や個人用途での印刷および保存はご自由にどうぞ。

【小説タイトル】

白黒学園物語

【Nコード】

N9792X

【作者名】

雷光

【あらすじ】

ここ白黒学園は【ヴァイスシュヴァルツ】というカードゲームを授業にいった少し風変わりな学園である…。そこに新入生の【黒野翼】と【白井 優奈】が入学してきて問題を起こす、ほのぼの学園コメディー生活！ 注意！！（作者は初心者で中学生です。しかも自己満足で書きます。それでも見てくれると嬉しいです）

プロローグ（前書き）

本編始まりは次話からです。

ブローグ

- 白黒学園 -

- 生徒数1000以上 -

- そこらでは有名な学園である -

- この学園の成績は普通 -

- 部活の大会でもすごい成績をだしたという事はない -

- という有名になる要素が無い学園ではあるが -

- ほかの学園とは少し違うところがある -

- それは -

- ヴァイスシュヴァルツ -

- というカードゲームを授業にいった、少し風変わりな学園である -

- その学園に300人以上の新入生が入ってきた -

- その新入生の内の二人 -

- 【黒野翼】と -

- 【白井 優奈】の -

- 二人の白黒学園の生活を紹介したいと思います -

プロローグ（後書き）

ダメだ…何この駄文…はあ、早速心が折れそう…

第1話 入学式とルームメイト（前書き）

どうも雷光です。執筆中にパソコンの電源が切れて執筆最初から…
猫のバカヤローーーーーッ!!

第1話 入学式とルームメイト

―白黒学園正門―

―その一人の男子生徒がいた―

―その男子生徒の名前は―

―【黒野翼】―

―今ここに黒野翼の学園物語は始まる―

黒野翼Side

どうも、黒野翼です。この学園の正門で学園を見渡しているのですが…

「何これ？」

そう、いくら白黒学園だからってこれはやりすぎでしょ…

まず、この学園の制服

男子は黒の制服、女子は白の制服を着ている。…まあ中には黒と白が入った（以下白黒）制服を着た男子や女子がいるけど…

ちなみに俺は白黒の制服です

まあ、それならまだ許せる…けどさあ…この学園は寮生活って聞いたけど…まさか寮まで白と黒に分けられているとは…しかもご丁寧に白黒寮まであるし…

ここまで白黒が多いと目がチカチカするな…

『もうすぐ入学式が始まります。急いで体育館に向かってください』

もうそんな時間か…急いで行こ

—体育館—

「はあ、はあ…」

ギリギリ着いたな…

『これより入学式を始めます。校長先生お願いします』

着いて早速入学式とは…少しは休憩させろよ！正門でこの学園見てたんだから！…まだ目がチカチカする…

『はい。皆さんおはようございます』

「「「おはようございます」「」「」

『皆さん知っていると思いますがこの学園には【ヴァイスシュヴァルツ】というカードゲームを授業に入れています』

そうなの？初めて知った。この学園に着たのは成績が普通だから平和に過ごせると思ってきたからまったく知らなかった…

『【ヴァイスシュヴァルツ】は世にはあまり知られておりません。だから【ヴァイスシュヴァルツ】を世に広める為にこの学園を設立しました』

校長先生、今は入学式です。この学園の設立はまたの機会にして速く進めてください

『しかしこの学園は【ヴァイスシュヴァルツ】を授業に入れています。が新入生の中にはまだ【ヴァイスシュヴァルツ】を知らない人がいるでしょう』

うん、俺はその内の一人だぞ

『だから、この入学式の後、先生から【ヴァイスシュヴァルツ】の

トライアルデッキと【ヴァイスシュヴァルツ】のパック10個、そのほかに部屋のルームキーや生徒手帳をもらってください』

トライアルデッキ？始めるならスターターデッキじゃないのか？

『以上、校長先生からでした。次は新入生の言葉です』

ここから先は普通に入学式だったので省略します by 翼

『…以上で入学式を終わります。各自、自分の部屋に行き明日の授業の準備をしておいて下さい』

ふう、やっと入学式終わった。さあて先生からヴァイス…シュヴァルツだっけ？を取りに行こう

タッタッタッタ…

— 7分後 —

「次の方」

「はい」

ようやく俺の番か…目がチカチカしてるから速くもらって部屋で寝よう

「えーとお渡しするのは【ヴァイスシュヴァルツ】のセットと生徒手帳に部屋のルームキーです。後で生徒手帳にかかっている校則とこの学園特有の【ヴァイスシュヴァルツ】のルールを確認してください」

「はい。ありがとうございます」

「いいえ、次の方」

よし、部屋のルームキーを手に入れたぞ。さあて部屋の番号は…WS1-8-14か…」

「部屋の番号はわかったけど…寮はどれだ？」

「あなたの寮はあの白黒の寮、WS寮よ」

「ありがとうございます…って、誰？」

今俺の目の前には髪の色が白で目の色は黄色でかわいい女子がいた…

「あつ、はい私の名前は【白井 優奈^{しらい ゆうな}】といいます。あなたと同じWS寮所属の1年生であなただのルームメイトです。」

へえー俺のルームメイトで名前は白井優奈さん…

「って、えええええー！ーッ！！？」

何で俺のルームメイトが女子なんだ！？

第1話 入学式とルームメイト（後書き）

誤字、脱字あったら報告してください。お願いします

第2話 学園ルール（前書き）

どうも雷光です。今日友達とヴァイスシュヴァルツで遊んでたんですが結果は自分の負け…。しかも相手のレベルとクロックは2 - 1でボコボコにされました…。ひどくね？

第2話 学園ルール

「えええええーッ!!?」

何で俺のルームメイトが女子なんだ!?

「……その様子だとこの学園のルールを知らないみたいですね」

うん、知らない!まだ俺この学園の校則見てねえもん!しかし何でルームメイトが女子なんだ………うん?

「今思ったけど何で俺がルームメイトってわかったんだ?」

「…本当に知らないですね」

すまねえな、何も知らなくて!!しかも今軽く笑ったし!

「まあ、説明は寮に向かいながら話しましょう」

そうですね。俺速く寝たいし…

「じゃあまず、どうしてあなたと私がルームメイトかわかった理由」

ああそれ気になるから速く言って

「あなたが先生から部屋のルームキーを貰って言ってたんですよ…
部屋の番号…WS1-8-14…って」

「……マジで？」

「マジで」

畜生！俺はよっぽど疲れたんだな！これも全部この学園のせいだ！

「その言葉を聞いて私の部屋の番号と同じだったのでルームメイト
だってわかったのよ」

「じゃあ次、何で俺とお前…てか男女が同じ部屋にいるんだ？」

「それはあなたの入った寮のせいです。この学園は白い寮をW寮^{ホワイト}、
黒い寮をB寮^{ブラック}って言うの」

まんまだな…もう少し名前に捻りをいれろよ、校長先生

「そしてあなたの入った寮はWS寮^{ヴァイスシュヴァルツ}って言うの。W寮は女子の寮で
B寮は男子の寮なの」

ああ、だから正門で見渡した時男子が黒で女子が白だったんだ

「次にWS寮。この寮は男女ペアで過ごす、混合寮ってわけ。その
証拠に部屋のルームキーの番号と制服の色がおなじでしょ？」

確かによく見ればこの女子の着てる制服の色は白黒だったな。そして
部屋のルームキーの番号は…WS1-8-14…うわ、本当に同じ
番号だ…

「さて話してる間にWS寮についたわよ」

「あつ…本当だ」

ほかに聞く事はないしさつさと入って寝よう。……目のチ力チ力はまだ残っているのか…

「あつそういえば、まだ君の名前まだ聞いてなかったね」

うん？そういえばそうだな…名前は聞いたからちゃんと返さないと…ルームメイトだからこれから先長い関係になりそうだし…

「そうだな。じゃあ自己紹介、俺の名前は黒野翼。よろしくな」

俺は自己紹介した後右手を出した

「黒野翼ですか…改めてこちらでも自己紹介します。私の名前は白井優奈。よろしくお願いします」

自己紹介が終わり、白井さんは俺が出した右手を握りお互いに握手をした…

「……………ナンカ手がモノスゴクネチヨネチヨスルンデスガ…」

「ふふ…自分の手をよく見てみな」

「手を？………げっ！」

おそろおそろ右手を見てみると俺の手に…

「な…なめくじ…」

「私は基本こういう悪戯好きだからそこらへんご注意を…」

こいつ…見た目こそは白だが中身は黒かよ…！

「お前なーーーーっ…！」

「きゃあ！これはとても嫌な予感がする…」

「お返しに一発殴らせる…！」

「やだ、だから逃げまーす」

「まてや、コラー…ッ…！」

こうして俺の学園生活は始まった…

第2話 学園ルール（後書き）

翼…いくら何でも女性を殴らせろなんて…短気な奴…

PDF小説ネット発足にあたって

PDF小説ネット（現、タテ書き小説ネット）は2007年、ルビ対応の縦書き小説をインターネット上で配布するという目的の基、小説家になろうの子サイトとして誕生しました。ケータイ小説が流行し、最近では横書きの書籍も誕生しており、既存書籍の電子出版など一部を除きインターネット関連に横書きという考えが定着しようとしています。そんな中、誰もが簡単にPDF形式の小説を作成、公開できるようにしたのがこのPDF小説ネットです。インターネット発の縦書き小説を思う存分、堪能^{たんのう}してください。

この小説の詳細については以下のURLをご覧ください。
<http://ncode.syosetu.com/n9792x/>

白黒学園物語

2011年10月29日16時13分発行